

2006年7月20日

モノづくりへのこだわりと現場力の強化へ向けて 「AGCモノづくり研修センター」を新設

旭硝子株式会社

旭硝子株式会社（本社：東京、社長：門松正宏）は、技術・技能の強化、及びその伝承活動に積極的に取り組んでいますが、その一環として研修棟、実習棟を兼ね備えた「AGCモノづくり研修センター」の建設を決定し、昨年10月に着工、今般竣工しました。なお、同センターの建設費は約15億円です。

当社は、2004年度からの経営方針“JIKKO”の中で「モノづくりへのこだわりと現場力の強化」を主要課題として掲げ、2005年4月に「モノづくり技術強化室」を設置し、①技術・技能者の教育体系の整備、②技術・技能の評価システムの確立、③技能伝承教材の作成、④人材活用制度の制定、⑤風土・土壌作りなどに取り組んできました。今般、京浜工場弁天地区に新設した「AGCモノづくり研修センター」は、こうした取り組みの拠点として、当社グループの技術・技能教育の課題を的確に把握し、各事業戦略に貢献できる人財育成と人財支援の役割を担うものです。

同センターは、講義やパソコンの実習などを行う研修棟と、実際のガラス溶解窯やフロートバス、化学品製造設備等を設置し実技を行う実習棟を兼ね備えており、理論と実践を身につける「実学一体教育」により、明日の「モノづくり」をリードする人財の育成を目指しています。

本年7月より国内連結会社の従業員を対象とした研修を開始し、2007年からはアジアの関係会社へも対象を拡大していきます。

当社は、今後も技術・技能の強化、及びその伝承活動を推進し、グループ全体で技術・技能の優位性を維持・向上させる強い企業体質を構築していく所存です。

以上

本件に関するお問い合わせ先：旭硝子(株)広報・IR室長 川上 真一

（担当：高橋 TEL：03-3218-5259、E-mail：info-pr@agc.co.jp）

<ご参考>

■「AGCモノづくり研修センター」の概要

1. 所在地 神奈川県横浜市鶴見区弁天町2（当社京浜工場弁天地区）
2. 規模
 - ・敷地面積 約4,600㎡
 - ・研修棟 4階建 延床面積：6,880㎡
 - ・実習棟 2階建 延床面積：1,900㎡
3. 施設構成
 - ・研修棟 研修室、討議室、自己開発（資料閲覧）室、電気制御・システム工房（実習室）、パソコン工房（実習室）
 - ・実習棟 モノづくり工房、ガラス工房、築炉工房、槽窯・バスオペレーション工房、設備ふれあい工房、化学工房、ロボット工房

■「AGCモノづくり研修センター」の外観



■「AGCモノづくり研修センター」の設備



化学工房
化学品のモデルプラントで、プラント操作やトラブル対応の研修を行う



モノづくり工房
金属を加工する設備で、実際のモノづくりの研修を行う